



1 / 2 1 試行錯誤の中での収穫体験

実りの喜びを求めて

5年生が、農園を整備して、ダイコン・カブ・ハクサイの栽培に取り組んでいます。ただ、種をまいた時期が遅かったこともあり、想定どおりに育たない結果となっています。

今日は、辛味ダイコンやカブを一人1つ、収穫してみました。大きさや形はさまざまで、思い描いていた姿とは違う感じでしたが、土の中から収穫できた瞬間には、子どもたちの表情が明るくなり、「育てることの難しさ」と「収穫できた喜び」の両方を実感している様子が見られました。



今回の経験を通して、うまくいかないことがあっても工夫をしたり、最後まであきらめずに取り組んだりすることの大切さを学びました。自然を相手にした学習だからこそ得られる、貴重な気づきの多い栽培活動となっています。



1 / 2 2 のびっこ学級 算数「割合」の学習より

自分のペースで学ぶ安心感

のびっこ学級では、算数の「割合」に取り組みました。授業では、子どもたち一人一人の理解に合わせて、無理のないスピードで学習を進めています。

問題に取り組む場面では、担任と一緒に考えながら解き進め、その後、ノートに整理して書く流れを大切にしています。考えたことを言葉や式に表して書くことで、理解を確かなものにしていきます。

「何で今やったのにもう一度書くの？」という子どもからの問いに、「確認のためだよ」と伝え、

「そっか」と納得した表情を見せていました。学びの意味を理解しながら取り組む姿が印象的でした。

こうしたやり取りを通して、子どもたちは自分のペースで学ぶ安心感をもち、少しずつ「わかった」「できた」という手応えを感じています。これからも、一人一人の理解に寄り添った授業を大切にしていきます。

